

教育

グローバル・AI時代における 子ども一人ひとりに寄り添う学びの環境づくり

公明党

問 グローバルAI時代を見据え、子供たちが世界で活躍していくためには、英語力に加え、多様性を理解し協働できるコミュニケーション力が不可欠です。市では小学生から国際理解教室を展開するなど、多様な価値観を持つ相手と交流できる様々なプログラムを実施しています。子供たちが英語でのコミュニケーションを楽しみ、ミスを恐れず、自信を持って異文化を受け入れる器を育ててほしいと考えます。異文化コミュニケーション力の育成に向けた今後の展開について伺います。

答 子供たちが異文化と出会う意欲を高め、異なる背景を持つ人々と合意形成を図る力の育成を目指していきます。そのため新たに、オンラインを活用しAET(※)から授業を受ける機会を増やす、英語を駆使して活躍する企業人と中学生が英語でキャリアについて対話をする「イングリッシュ・インターン」の取組も始めています。子供たちが異文化に飛び込む不安を乗り越え、チャレンジしていけるよう、多様な体験機会の充実を図ります。

議案に対する各会派の賛否一覧

令和8年 第2回市会定例会 ○は賛成、×は反対、－は欠席

		議 案 名	自 (31)	公 (15)	立 (10)	維 (8)	国 (6)	共 (5)	よ (2)	太 (1)	井 (1)	市 (1)	斉 (1)	無 (1)	風 (1)	ゆ (1)	え (1)	ト (1)	議 決 結 果		
市 長 提 出 議 案	条例の制定	●防犯のまちづくり推進条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	－	○	○	可決		
	条例の改正	●市税条例等の一部改正についての専決処分報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	承認	
		●区民文化センター条例の一部改正●空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例の一部改正●市営住宅条例の一部改正●改良住宅条例の一部改正●地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正●消防団員賞じゅつ条例の一部改正●市立学校条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決	
		●市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
		●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に関する条例の一部改正●公園条例の一部改正●水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
		●乗合自動車乗車料条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決(※)
		その他の議案	●峰沢第337号線等市道路線の認定及び廃止●消防訓練センター訓練施設整備工事(救助訓練塔建築工事)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
	●下水道使用料の減免適用解除処分に係る審査請求に関する諮問(第1～3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	－	○	○	賛成のない旨、答申
●特定公園施設の取得	○		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決	
●中期計画2026～2029の策定	○		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	－	○	○	可決(※)	
人事議案	●教育委員会委員の任命●人事委員会委員の選任●中央農業委員会委員及び南西部農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	同意	
	●監査委員の選任	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	同意		
議 員 委 員 会 提 出 議 案	条例の改正	●横浜市委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	その他の議案	●特別委員会の委員の定数の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	意見書の提出	●中東地域をめぐる情勢を踏まえた対策を求める意見書(総務委員会)●地方財政の充実・強化を求める意見書(総務委員会)●脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書(福祉委員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
●皇室の伝統を踏まえた安定的な皇位継承の確保に向けた国会論議の促進を求める意見書(総務委員会)		○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	－	○	○	可決	
会 派 別 議 員 一 覧 (令 和 8 年 6 月 5 日 現 在)	自由民主党横浜市議員団(自)31人																				
	●青木 亮祐 ●東 みちよ ●伊波俊之助 ●磯部 圭太 ●おさかべさやか ●大桑 正貴 ●鴨志田啓介 ●川口 広 ●黒川 勝 ●小松 範昭 ●佐藤 茂 ●佐藤 祐文 ●酒井 誠 ●清水 富雄 ●渋谷 健 ●白井 亮次 ●鈴木 太郎 ●瀬之間康浩 ●関 勝則 ●田野井一雄 ●長谷川琢磨 ●福地 茂 ●伏見 幸枝 ●藤代 哲夫 ●増永 純女 ●松本 研 ●山下 正人 ●山田 一誠 ●横山 正人 ●横山勇太郎 ●渡邊 忠則																				
	公明党横浜市議員団(公)15人																				
	●安西 英俊 ●市来栄美子 ●尾崎 太 ●木内 秀一 ●行田 朝仁 ●久保 和弘 ●斉藤 伸一 ●高橋 正治 ●竹内 康洋 ●武田 勝久 ●竹野内 猛 ●中島 光徳 ●仁田 昌寿 ●福島 直子 ●望月 康弘																				
	立憲民主党横浜市議員団(立)10人																				
	●越久田記子 ●大岩真善和 ●かざまあさみ ●高田 修平 ●中山 大輔 ●花上喜代志 ●藤崎浩太郎 ●麓 理恵 ●森ひろたか ●谷田部孝一																				
	日本維新の会横浜市議員団・無所属の会(維)8人																				
	●いそべ尚哉 ●伊藤くみこ ●大山しょうじ ●柏原すぐる ●くしだ久子 ●坂井 太 ●田中 紳一 ●山浦 英太																				
	国民民主党横浜市議員団(国)6人																				
	●熊本ちひろ ●こがゆ康弘 ●坂本 勝司 ●深作 祐衣 ●二井くみよ ●横溝じゅん子																				
日本共産党横浜市議員団(共)5人																					
●宇佐美さやか ●大和田あきお ●白井 正子 ●古谷 靖彦 ●みわ智恵美																					
地域政党よこはま横浜市議員団(よ)2人																					
●関 高史 ●山田桂一郎																					
自由民主党太田正孝(太) ●太田 正孝																					
井上さくら(井) ●井上さくら																					
市民の党 日本(市) ●梶村 充																					
斉藤達也(斉) ●斉藤 達也																					
無所属(無) ●興石かつ子																					
横浜の風(風) ●荻原 隆宏																					
田中ゆき(ゆ) ●田中 ゆき																					
長谷川えつこ(え) ●長谷川えつこ																					
大野トモイで自由と民主主義を守り立憲主義を実践する会(ト) ●大野トモイ																					

※附帯意見を付けて可決

可決

市に深い関わりのある事柄について、国会及び国や県などに対して意見書を提出することで、市会としての意思を表明しています。

●

皇室の伝統を踏まえた安定的な皇位継承の確保に向けた国会論議の促進を求める意見書(要旨)

国におかれては、安定的な皇位継承の確保に向け、これまでの議論の蓄積及び有識者会議の報告書を踏まえ、皇族数の確保に関する方策を含めた諸課題について、建設的かつ集中的な議論を推進し、国民的理解を得ながら検討を進めるよう要望する。

●

中東地域をめぐる情勢を踏まえた対策を求める意見書(要旨)

国におかれては、市民生活の安定と安心を確保する観点から、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

1 中東情勢の緊迫化に伴う原油・エネルギー価格の変動が市民生活及び地域経済に与える影響を十分に注視し、原油価格、電気・ガス料金等の高騰抑制に向け機動的かつ継続的な対策を講ずるとともに、負担軽減策を切れ目なく実施すること。

他4項目

●

地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)

国におかれては、令和9年度の政府予算及び地方財政の検討に当たり、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

1 社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、教育、防災減災、地域公共交通の再構築など、行政需要を的確に把握し、物価及び賃上げの動向を踏まえた人件費を確保しつつ必要な地方財源の確保充実を図ること。

他6項目

●

脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書(要旨)

国におかれては、公平性と透明性の高い自賠責保険の後遺障害等級の認定体制を整備し、被害者救済の理念が十分に発揮されるよう次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

1 自賠責保険の脳脊髄液漏出症に関する後遺障害等級の認定手続として、高次脳機能障害と同じように、専門医による認定システムの仕組みを構築すること。

他1項目